

2 . 駅周辺のまちづくり方針

目 標 駅周辺がにぎわい 暮らしが便利で楽しいまち

< 現況と課題 >

区内の鉄道網は、相模鉄道本線と二俣川から分岐するいずみ野線です。各駅周辺の状況は次のとおりです。

(各駅周辺)

・二俣川駅周辺

相模鉄道線が本線といずみ野線に分岐する二俣川駅は、一日の平均乗降客数が約8万人となっており、区内で一番利用者数の多い駅です。周辺には、こども自然公園、県立がんセンター、ライトセンター、運転免許試験場などの広域利用圏をもつ公共施設が多数立地しています。北口では、再開発や駅舎改良、二俣川銀座商店街のモール化が完了するなど、周辺の基盤整備が進んでいます。

一方、南口は、駅ビル等の老朽化や、駅周辺の高度利用が進まないなどの課題があります。

・鶴ヶ峰駅周辺

鶴ヶ峰駅は、旭区役所、横浜動物の森公園（ズーラシア）の最寄り駅です。また、地区を流れる帷子川の旧河川敷は親水緑道や公園として再整備され、地域の人々の憩いの場所となっています。駅南口では再開発が進んでいます。北口は、大きな商店街がありますが、駅前広場がない、バスターミナルが駅舎から離れている、歩道がないところがあるなどの課題があります。駅前の主要道路である水道道では、相模鉄道線の踏切を中心に、朝夕の渋滞が激しく、歩行者、自転車等が錯綜しています。

・希望ヶ丘駅周辺

地形がすりばち状であるため、坂が大変多くあります。駅舎の改良は完了していますが、駅前や周辺の商店街などでは自動車やバス、歩行者・自転車が交錯している状況がみられます。

・三ツ境駅周辺

三ツ境駅は、瀬谷区との区界に位置しており、追分・矢指市民の森、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院などの最寄り駅です。駅舎は、大型商業施設や屋上広場などが整備されています。駅周辺の商店街には歩道がなく、また、駐輪場が不足しています。

・南万騎が原駅周辺

昭和51年の相鉄いずみ野線の開通により、駅周辺は急速に市街化されました。駅前広場、道路、商業施設、周辺住宅地等も駅舎とともに計画的に配置され、整った街並みが形成されています。

(各駅周辺共通の状況)

- ・二俣川・鶴ヶ峰は副都心として位置づけられています。他の副都心とは異なり、2つの駅周辺が核となる2極構造であるため、両地区がそれぞれの地域特性や市民ニーズを踏まえて、連携を強化していく必要があります。
- ・相模鉄道本線北側に沿った厚木街道（横浜厚木線）は、拡幅整備が進められています。南側を一部併走する都市計画道路鴨居上飯田線は、さちが丘から本宿町区間について事業化され、整備を進めています。
- ・相模鉄道本線の南北の市街地を連絡する道路の不足により、一部の道路に交通が集中したり、踏切に自動車・自転車・歩行者が錯綜する状況がみられます。道路渋滞の緩和や円滑なバス運行の確保、安全な歩行空間の整備が課題となっています。
- ・駅周辺の道路は、歩車道の整備が充分でなく、歩行者・自転車と自動車が錯綜しています。誰もが安心して快適に通行できる道づくりが必要です。
- ・駅前道路等の違法駐車が渋滞の原因となったり、違法駐輪が歩行者、車椅子、ベビーカー等の通行の妨げとなっています。
- ・住宅地が中心の旭区では、多くの人々が利用する駅周辺に生活を支える機能が充足されるよう、既存の商業・サービス機能を生かしながら、区民の生活ニーズに対応した機能の充実をはかっていく必要があります。

<まちづくり方針>

(1)副都心（二俣川駅、鶴ヶ峰駅周辺）の整備方針

二俣川・鶴ヶ峰副都心では、交通ターミナルとして広域拠点性を高めていくために、区民・企業・行政の協働により、道路などの整備と一体的に駅周辺の再開発などのまちづくりを進め、商業・業務機能の集積と、文化施設や福祉施設などの区民利用施設の整備・誘導をはかります。

また、神奈川東部方面線の整備にあわせ、相模鉄道本線の南北に併走する厚木街道（横浜厚木線）と鴨居上飯田線とを結ぶ南北連絡道路（鉄道との立体交差）を整備し、南北市街地の連絡強化と踏切による交通混雑の解消をはかります。

違法駐車、駐輪対策として、利用者のマナーの向上や監視体制の強化をはかるとともに、駐車・駐輪スペースを確保します。

さらに、区民、企業及び行政が共にまちづくりについて話し合う場を設けるとともに、二俣川、鶴ヶ峰両地区のそれぞれの地域特性や地域ニーズを踏まえて、適切な機能分担をしながら連携を強化していきます。

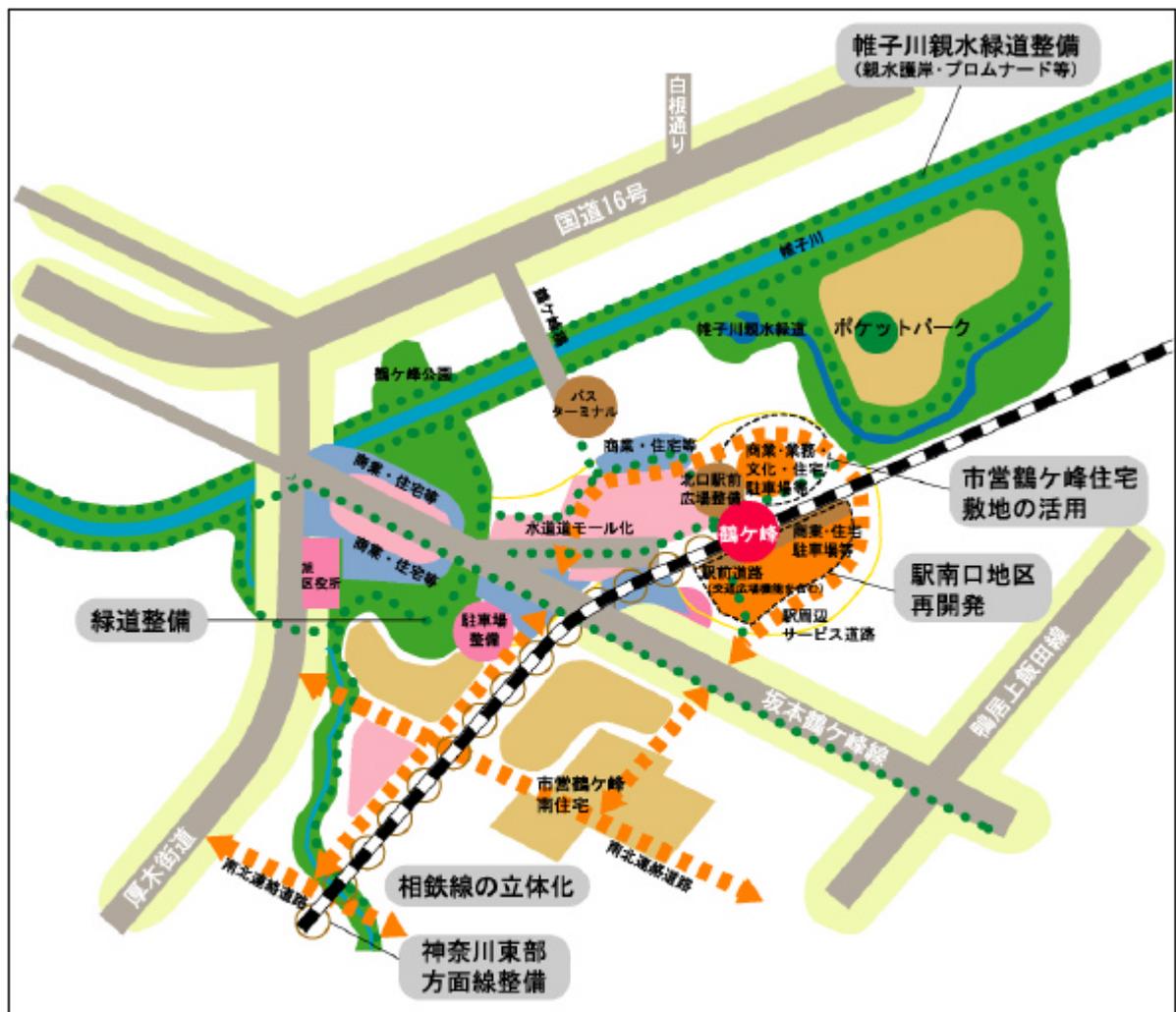
エネルギーに活動する二俣川駅周辺

- ・厚木街道（横浜厚木線）や自然公園通りの交通混雑を解消し、自動車による移動が円滑にできるよう鴨居上飯田線の早期実現をはかります。
- ・南口周辺は、鴨居上飯田線の整備にあわせ、駅前広場の整備や商業・業務機能の集積をはかるため再開発を行います。

歴史や文化の香りあふれる鶴ヶ峰駅周辺

- ・南口地区の再開発により、商業機能の集積や、都市型住宅の供給など、駅と一体的な複合施設の整備を進めます。あわせて、駅舎のバリアフリー化、周辺道路等の交通環境の整備を進めていきます。また再開発ビル内に保育所などの区民利用施設を整備します。
- ・北口地区では、南口地区との機能分担を考慮しつつ、市営鶴ヶ峰住宅敷地（約7,000㎡）の活用や駅周辺の道路整備を含めた総合的なまちづくりをすすめます。また、駅から区役所やバスターミナルへのアクセスの改善についても検討していきます。
- ・神奈川東部方面線など鉄道の整備状況に応じて、都市計画道路坂本鶴ヶ峰線の整備や水道道のモール化（鶴ヶ峰駅～旧鎧橋）などにより、鶴ヶ峰駅へのアクセス向上と商店街の活性化をはかります。
- ・旧鎧橋から区役所にかけての帷子川旧河川敷については、緑道化により、駅から区役所までの歩行環境を改善します。また、帷子川や鶴ヶ峰公園、畠山重忠ゆかりの史跡など数多くある歴史や文化の地域資源と連続する緑のネットワーク整備を進めます。また、周辺の市営駐輪場や緑地について、副都心にふさわしい土地利用方法を検討し、整備します。

<鶴ヶ峰駅周辺（「二俣川・鶴ヶ峰副都心整備基本構想」より）>



 既存商店街、大規模商業施設等	 沿道複合ゾーン
 再開発促進地区	 公園、緑地
 高度利用促進地区	 新規構想道路
 居住環境整備地区	 歩行者ネットワーク

(2)生活拠点（希望ヶ丘駅、三ツ境駅、南万騎が原駅周辺）の整備方針

地域の生活拠点にふさわしい環境となるよう、商業施設や多様な施設・機能を充実させ、区民生活の利便性の向上をはかります。さらに、駅周辺での円滑な交通環境が実現されるよう、道路渋滞の解消をはかるとともに、歩行者・自転車・自動車にとって安全かつ快適な道づくりを進めます。

人にやさしく心地よい希望ヶ丘駅周辺

- ・ 駅前の交差点や踏切付近での渋滞を解消するため、車輛通行規制や路上駐車対策、交差点の改良などを行います。また、踏切で歩行者・自転車・自動車が錯綜しないよう改善に取り組みます。
- ・ 駅周辺での円滑な交通環境の実現をはかるため、駅前を迂回するルートとして希望ヶ丘瀬谷線や中田三ツ境線の整備を進めていきます。
- ・ 駅舎の三ツ境駅方面への改札口の増設について、駅周辺のまちづくりのなかで検討していきます。
- ・ 駅近くの希望ヶ丘商店街などでは、安全な歩行空間を確保しながら、買い物しやすく賑わいのある環境づくりを進めます。

ふれあいにぎわう三ツ境駅周辺

- ・ 駅北側周辺の交差点に交通が集中し、付近の道路渋滞を招く状況を改善するために、交差点改良などの道路整備を進めます。
- ・ 野境道路は、追分・矢指市民の森など区の北西部の緑の拠点とのつながりが感じられる緑のネットワークとして、街路樹や歩道の良好な環境を維持します。
- ・ 自転車を利用しやすい環境づくりと放置自転車対策として、駅の近くに駐輪場を整備します。
- ・ 駅北口の商店街では、歩行者・自転車・自動車が安全に通行でき、にぎわいのある環境づくりを進めるとともに、地域住民の生活を支える場として充実をはかっていきます。

おしゃれで広がりのある南万騎が原駅周辺

- ・ こども自然公園など緑の拠点とのつながりが感じられ、歩行者や自転車が快適に行き来できるよう街路樹や歩行環境整備を進めます。
- ・ 計画的な開発により整備された街並みを適切に維持します。